



吉子川



令和7年9月4日(水)
学校だよりNO. 33
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコッピ】

吉子川小学校
のあやめの花に
住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの

十か条 (9月)

いつも気をつけている言葉づかい
自分も大事、相手も大事

◇ 落雷事故防止に関する資料 ◇

落雷による事故は、生命に危機を及ぼす重大な事故になりやすいですが、適切な判断により事故を防ぐことが可能ですから、屋外での活動中において、天候が急変しそうな予兆がある場合には、気象に関する情報を収集するとともに、早めに中断し避難等の対応を行うことが重要となります。

〈予想される状況〉

- ① 「雷注意報」の発表。
- ② 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ③ 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ④ ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ⑤ 大粒の雨や雹(ひょう)が降り出す。
- ⑥ 近くに雷が落ちる。



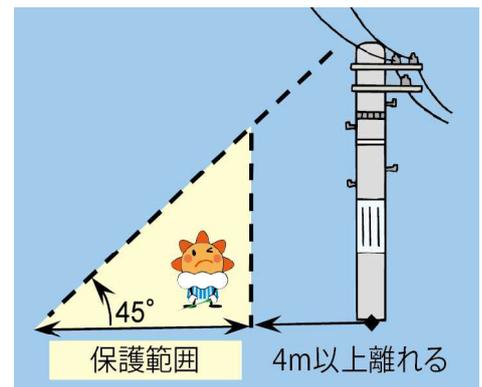
〈対応〉

- ① 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりした場合は速やかに屋内に避難させる。
＜雷鳴が遠くても雷雲はすぐ近づいてくる。雨が降ってなくても落雷はある。＞
- ② 校庭やプールでの活動、平地でのハイキング等、近くに高いものがない場所での活動の場合は特に注意し、速やかに活動を中止し、屋内に避難させる。
- ③ 雷の活動は短時間でおさまることが多いので、無理に登下校、帰宅等をせず、屋内に避難・待機する。
- ④ 自転車に乗っていたら、すぐに降りて安全な場所に移動する。

〈避難場所等に関する留意点〉

- ① 建物の中、自動車、バス、列車の中等への素早い避難が求められる。
- ② 軒先や外壁は雷の通り道になること等に注意する。
- ③ 雷は高い場所に落ちやすい。立ち木に落ちると被害を受けるので立ち木から離れたところに避難する。
- ④ 近くに避難する場所がない場合は、しゃがみこむ等できるだけ姿勢を低くする。

※ 近くに安全な空間が無い場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところ(保護範囲)に退避します。高い木の近くは危険ですから、最低でも木のすべての幹、枝、葉から2m以上は離れてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにします。雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動します。



〈雷の活動が止んだら…〉

- ① 雷鳴が止んでから20分程度は落雷の危険があることから、安全な場所で待機する。
- ② 一つの雷雲が去っても、次の雷雲が近づく場合もあるので、新しい雷雲の接近に常に注意する。
- ③ その後は気象情報等で安全を確認の上、活動を再開するかどうかの判断をする。